

第4章 教育の情報化

第1節 基盤整備

県立学校、図書館、美術館及び博物館等の教育関係機関が専用イントラネット及び電子メール等のインターネットサービスを利用できるよう、平成11年度から情報環境の基盤「うつくしま教育ネットワーク」を整備してきた。「うつくしま教育ネットワーク」は県教育センターを拠点とし、県立の学校、図書館等はもとより県内の市町村立学校などの教育関係機関との接続を可能としている。ネットワークの高速化を図るために、県の情報通信ネットワークへの接続を進め、平成15年度に全県立学校の接続を完了するとともに、平成18年度には回線を更新することでその高速化を行った。これにより、高速回線で教育情報の提供・検索、情報教育での活用などが可能になり、電子情報利活用のための利便性向上が図られた。

生涯学習については、インターネットを利用し、生涯学習に関する情報を県民に提供する「福島県生涯学習情報提供システム（検索ツールの「まなびとファインダー」等）の運用を行っている。

さらに、平成18年1月の「IT新改革戦略」に基づき、校務事務の効率化及び情報管理の徹底のために、平成19年度から平成21年度までに、県立学校に教員1人1台に相当するパソコンの配備を行った。（平成21年度「学校情報通信技術環境整備事業費補助金を一部利用）

また、児童・生徒の学習意欲の向上や教員の多忙化解消、特別支援学校における児童・生徒の交流に資するため、平成23年2月にテレビ会議システムの再構築を行った。

うつくしま教育ネットワークのサービス

- ・ ホームページの利用環境
学校や教育関係機関等のホームページを設置できるスペースを提供し、取組や研究成果などを広く共有する場を提供する。
- ・ 電子メールサービス
電子メールアカウントを、教職員、学校、教育関係機関等に発行する。
- ・ 不適切情報のフィルタリング
児童・生徒に触れさせたくない情報をネットワーク拠点で一元的に管理し、教育にふさわしい情報の提供を行う。
- ・ セキュリティやウィルス等への対策
- ・ 教育情報データベース（アーカイブとして公開）
- ・ コミュニケーション環境（メーリングリスト、メールマガジン等）
- ・ ヘルプデスクによるネットワークサービスの相談受付
- ・ テレビ会議システムの運用

過去10年間の県立学校基盤整備状況

年度	教職員PC配備実績	校内LAN整備
H18	H19年度から配備 ※1	3校
H19	926台	
H20	735台	
H21	2,049台	7校
H22	0台	
H23	316台 ※2	
H24	1,395台 ※3	1校
H25	814台 ※3	
H26	0台	
H27	0台	

※1 うつくしま教育NW・県情報通信NWへの接続は、平成15年度に整備済み

※2 東日本大震災に伴うサテライト拠点校等への緊急配備

※3 WindowsXPのサポート終了に伴う更新

学校の基盤整備状況（小・中・高・特別支援学校）

項目	福島県	全国平均
コンピュータ1台当たりの児童生徒数	5.6人	6.2人
校務用PCの整備率	105.8%	116.1%
普通教室のLAN整備率	81.0%	87.7%
電子黒板のある学校	72.5%	78.8%
超高速インターネット接続率	76.8%	84.2%
校務支援システムの整備状況	57.7%	83.4%
デジタル教科書の整備状況	42.9%	42.8%
学校CIOの設置状況	27.4%	41.6%

H28.3月現在 文部科学省調べ

第2節 人材の育成・活用

すべての教員がコンピュータを操作でき、コンピュータを用いて指導できることを目指して、研修の充実を図っている。

人材の育成状況

項目	福島県	全国平均
教材研究・指導の準備・評価などに ICT を活用する能力	78.9%	83.2%
授業中に ICT を活用して指導する能力	64.4%	73.5%
児童・生徒の ICT 活用を指導する能力	62.7%	66.2%
情報モラルなどを指導する能力	75.9%	78.9%
校務に ICT を活用する能力	74.0%	79.4%

H28.3月現在 文部科学省調べ

